



# 進路だより



福井大学教育学部附属特別支援学校  
 進路指導部

今年度の進路だより（第1号）ができあがりました。例年ならば、卒業生の皆さんの状況や、交流会の様子等についてお伝えしていますが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止のために、行事がなくなった関係で、進路に関する行事・活動、進路に関する願いアンケートのまとめ、進路説明会などについて、今発信できる有意義な情報についてお伝えします。

## 今年度の進路に関する行事・活動



お子さまの進路について、本人・保護者と学校が共に考えていくために、進路に関する様々な行事・活動を計画しました。今後の社会情勢等で、変更もあります。御理解、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

	小学部	中学部	高等部
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本人・保護者の願いアンケート</li> <li>●個別教育相談（27日～）</li> </ul>		
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路指導についての説明（入学式後の学部懇談の中で）</li> </ul>		
6月			<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路説明会（21日新高1のみ）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別教育相談（8、9日）</li> </ul>		
夏季休業中			<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所体験実習（高等部生徒）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職業ガイダンス（7日*オープンクラス生活1班・2班生徒、中学部・高等部の希望する保護者）</li> <li>●個別教育相談（7、8日*高等部担任より実習説明があります。）</li> <li>●全校集会・現場実習壮行会（検討中）</li> <li>●学校医現場実習先訪問</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等部3年生現場実習3週間（19日～11月6日）</li> <li>●高等部1、2年生 学校実習1週間・現場実習2週間（19日～23日、26日～11月6日）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現場実習見学会（検討中）</li> <li>●全校集会・現場実習報告会（検討中）</li> </ul>		
		●中3生の高等部体験	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別教育相談（9、10日）</li> <li>●事業所見学会（福井圏域・坂井圏域）対象：生徒・保護者・教員（24日、25日予定）</li> </ul>		
		●事業所体験実習（中学部生徒）	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路に関する学習会（予定）</li> </ul>		
2月		●中3生の高等部体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高3生進路決定</li> <li>●「仕事」体験（8～10日1・2年生）</li> </ul>
	●個別教育相談（24～26日）※新高3進路相談会		

### ★事業所見学会（福井圏域・坂井圏域）12月24、25日について

今年度も保護者・教員が様々な進路先の情報を得るために、冬季休業中を利用して事業所見学を行い、進路選択の幅を広げていきたいと考えています。

### ★夏季休業中の事業所体験・現場実習について

高等部は数日の体験実習を行い、その中から秋の現場実習先を決定します。受け入れ先の事業所には、学校より体験実習の依頼を行います。中学部は、12月に実施予定です。

### ★進路学習会について

学習会では、様々な制度や福祉サービスなどについて学んだり、卒業した先輩・保護者との話し合いを行ったりすることで、現在及び卒業後の生活を考える機会とします。

### ★高等部の現場実習について

10月に高等部全員が現場実習を行います。期間については、高3生は3週間、高1・2生は2週間の予定です。また、状況を見て、中学部・学校医が現場実習先見学会を行う予定をしています。

### ★相談支援専門員とのケース会議について

福祉サービスを利用する場合、相談支援事業所が計画相談を行うことになっています。卒業時には、相談支援事業所が行うサービス調整会議に学校も対応していきます。但し、さらに具体的な支援について話し合う必要がある場合は、個に応じてケース会議を学校で開き、現在の生活の充実及び卒業後への移行を共に考えていきます。



## 進路に関するアンケートQ&A

●今年度の本人・保護者の願いアンケートからいただいた保護者の声についてできる限りお答えします！

Q：就労できるだろうか。不安。



A：先の事を考えると不安になりますね。見通しを持つことは大切ですが、あまり先を見すぎず、まずは今の学校生活を大切に、あせらず力をつけていきましょう。お子さんの得意な事や好きな事から自信をつけ、徐々にコミュニケーション力、自分の役割を果たす力、苦手なことにも挑戦する力等、色々な力をつけていけば良いと思います。中高等部になると、実習の機会があります。その実習でのお子さんの様子を見て、本人、保護者、支援者で相談し、就労先を決めていきます。就労以外にも、生活介護、自立訓練、日中一時、地域生活支援事業等様々な日中活動の場があります。「本人が生き生きと過ごせる場所はどこか？」を共にゆっくり考えていきましょう。

Q：・一般就労と福祉的就労の違いについて。




A：本校の生徒の就労形態には  
一般就労……障害者枠での雇用していただきます。障害者手帳が必要です。給料は就労時間によって7万円～10数万程度まで、様々です。  
福祉的就労・就労移行支援：2年後には一般就労を目指します。  
就労継続支援A型：最低賃金が保証されます。雇用関係を結びます。給料は平均7万円程度です。  
就労継続支援B型：緩やかな就労形態です。工賃は平均2万円程度です。  
以上のような選択肢があります。現場実習を繰り返して進路先を決めていきます。

Q：一般就労には何が必要なのか。




A：就労に必要な力として「日常生活の管理」「コミュニケーション」「基本的な労働習慣」「仕事への態度」「作業力」があげられますが、一番大切なのは、自分の生活習慣（健康管理）がしっかり管理できているか、自分の特性についてしっかり理解できているか（自己理解）ではないかだと思います。体は資本。元気に毎日出勤できるようにするために心も体も安定させることが大切です。また、自分の得意不得意について理解できていると、どこで自分が助けを求めればいいのか、自分の力が生かせるのはどんな仕事かが分かります。その力があって、次に大切となってくるのがコミュニケーション等の力だと思います。学校生活で、実習等の機会を通じて、また家庭の力もお借りして、こうした力を培っていきます。

Q：就労までの流れ、就労後の様子や1日の過ごし方について知りたい。




A：高等部1年～2年 夏休み体験実習→秋の現場実習3週間（今年度は2週間）  
高等部3年 春の現場実習2週間→秋の現場実習3週間  
高等部3年の秋の現場実習では、次年度の4月からの生活を見越した実習にできると理想的です。出退勤の仕方、仕事の内容、休憩時間の過ごし方など、細かなところまで確認した上で進路を決定していきます。  
一般就労、就労継続支援A型に就労する場合は、ハローワークに登録（求職登録）し、面接等の試験を経て内定が決まり、2月頃に移行支援会議で引継ぎを行います。就労継続支援B型、就労移行支援、生活介護等は2月にサービス調整会議を行ない、引継ぎや4月からの生活について、具体的に話をします。  
就労後の先輩たちは、社会人として立派に働いています。企業や事業所でもまれ、言葉遣いや態度面もより大人になっていきます。  
1日の過ごし方は様々ですが、企業ですと8：30～17：00頃まで働きます。  
A型だと9：00～14：00くらい、B型、就労移行ですと9：00～16：00頃まで働く形が多いです。休憩時間は午前中、午後ともに1回と昼食休憩1時間程度をとっている所がほとんどです。

Q：卒業生の進路先、仕事内容について知りたい。




A：卒業生の進路先については本当に様々です。年度始めに配付した進路だよりにより具体的な事業所や企業が掲載されておりますので、参考になさってください。仕事内容も軽作業、洗濯、清掃作業、製造業、農業、接客、調理、配送、パソコン関係の作業など、たくさんの作業種があります。例年、本人にどんな仕事に興味があるのかをアンケートや面談で聞き取り、その興味を元に体験実習先を決めるようにしています。

Q：・就労して困ったとき、どんなサポートがあるのか知りたい。  
・就職したときに、うまくいかないときには、どのように対応しているのか。



A：福祉的な就労の場合は相談支援専門員が支援の核となりますので、その方に相談し、サポートしてもらいます。場合によっては学校も会議に参加し、支援について相談します。一般就労の場合は、ふっとわーく、基幹相談支援、地区相談支援等の機関に相談にのってもらいながらサポートをうけます。環境（人、物）を変化させる、仕事内容を代える、支援方法の見直しをする等の方法で対応していく形になります。一般就労の場合はジョブコーチを派遣してもらって、悩みについて相談したり、企業と本人との橋渡し役になってもらうこともあります。

Q：お小遣い管理をさせたいがどのようにしていけばいいのか。



A：高等部になると、「生活」の授業でお金の管理に関する学習をします。家計簿アプリを活用してある一定金額の管理について学んだり、自分が就労し、給料を得たことを仮定して1か月の必要経費（光熱費、食費、通信費など）や自分の欲しいものを買う仮想経験をするという「マネーゲーム」と呼ばれるゲームをして貯金の大切さ、お金の大切さについて学ぶ機会を設けたりしています。生徒によっては、お小遣いを家計簿をつけて管理する練習をしているご家庭もあるようです。自分で管理がどうしても難しいという場合は、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業を使うのも一つの手です。日常的な金銭管理についてサポートしてくれるサービスで、1回1時間1200円の利用料はかかりますが、1週間ごとに家計簿をつける作業を一緒にしてくれたり、1週間に必要な金額を相談して決め、その管理についてチェックしてくれたりといったことをサポートしてもらえます。

Q : 毎月の収入の振り分けが知りたい



A : 高等部卒業 (18 歳) ~ 20 歳・・・特別児童扶養手当 (約 3 万円) + 給料 (工賃) 20 歳～  
・・・障害基礎年金 (1 級約 8 万円、2 級約 6 万 5 千円) + 給料 (工賃)  
という収入で生活していくことになります。グループホームや施設入所という場合、その費用は障害基礎年金で賄えるように金額が設定されています。そうすると、給料 (工賃) で自分の自由なことに使ったり、将来のための貯金をしたりすることになります。当然、アパートでひとり暮らしとなると、家賃、光熱費等、自分で支払っていかねばなりません。授業で結婚されたご夫婦に来ていただき、生活について質問したところ、市営住宅に住んでおり、住居費用は 1 万円から 2 万円程度とおっしゃっていました。この方々は夫婦共に障害を持たれており、「ふっとわーく」に相談にのってもらいながら生活しているとのことでした。色々な生活のスタイルがあります。その都度、相談にのってもらいながら自分の生活スタイルを見つけていくことになると思います。

Q : 進学した人はどのように歩まれているのか。



A : 本校を卒業し、大学、短大等へ進学した方はおりません。職業関係の専門学校へ通っていた方はいらっしゃる。しかし、その方は人間関係に悩み、途中で通うことを断念されたようです。ほとんどの卒業生は一般企業、福祉事業所に就労したり、生活介護事業所で自分らしく過ごしたりしています。本校での実績はありませんが、国立吉備高原職業リハビリセンターで 1 年～2 年間、入所生活を送り、手に職をつけて就労するという方法もあります。(入所のための選考試験があります。) 興味のある方はお知らせください。

## 進路指導説明会のご紹介



今年度は密を避けるために、高等部 1 年生の希望する保護者を対象に、進路指導説明会を行いました。人数が少ない分、保護者の方とやりとりしながら進めることができたので、このような形も貴重だと思いました。小中学部の保護者の方にも聞いていただくと良い内容ですので、今年度は紙面にてお伝えさせていただきます。

進路指導で目標としたいこと

生き生きとした社会生活を送ることができる

スクールプランの重点目標

- ★生徒の意思決定支援を丁寧に
- ★段階的な進路指導

生き生きとした生活を送るためには、  
様々な角度からの進路指導が必要・・・



就労・くらしのために必要な力をつけていく



学校で  
家庭で

小・中・高等部と、キャリアに関する力を積み上げていきます。高等部になると、つけた力や持てる力を実生活に活かしていきます。小中で様々な経験をしていく中で、可能性を探っていけると良いです。

**学校で 小学部**  
のびのびタイム  
くらし など・・・

友達と盛り合わせて遊ぶ  
（友達とのやりとり、集団活動への参加）  
先賢の働く姿をみる  
（目標の設定と達成への取り組み）

**中学部**  
ゆうゆうタイム  
くらし など・・・

自分選んで野菜を使ったりして調理  
（消費生活に関する基本的な事柄の理解）  
体験を振り返り、次に生かす。  
（目標の設定と達成への取り組み）

**高等部**  
仕事  
生活 など・・・

自分の強みをチームの中で活かす  
（集団の一員としての役割理解）  
自分で仕事を選択する  
（職業設計・進路選択）

家庭で  
お手伝い  
自分でできることを増やす

家族の中で自分の役割があり、その役割を果たす一人の役に立つ喜び一歩一歩  
家事スキル（洗濯、掃除、調理）そのまま就労に結びつくことも  
ある生徒 洗濯たたみ（クリアー）→タンズ入れ（クリアー）→洗濯干し（クリアー）→洗濯機かけ（クリアー）→全工程を一人で（クリアー）  
スモールステップで力をつけていく

自立に向けて、スモールステップでできることを増やしていきましょう。箸並べからスタートでも全然OK。そこから、じゃあ盛り付けしてみる？とかお皿洗ってみる？とか関連するものでできることを広げていけると、力は高まると思います。それが直接就労に結びつくこともあります。



自分に合った就労先を見つける



体験する  
（現場実習、体験実習）  
情報集めをする  
自分の意思決定

今年度の1年生について、3年間の進路指導の流れを説明しました。  
1年 働く経験を通して 働く喜びや意欲をもつ  
2年 様々な実習先を経験し進路選択の幅を広げる  
3年 自分に合った就労先を見つける  
3年生の春～夏で進路を決定し、秋の実習は4月からの生活を想定した実習になると理想的です。

今年度の現場実習の進め方・・・

**進路相談**  
10月～11月

★今年度の現場実習に向けて  
★余剰の選ごし方  
★医療との連携  
※相談支援専門員の方も呼びかけます。

**現場実習（予定）**  
10月19日～23日  
2週間連続実習  
（10月26日～11月6日）

★1年生は  
1 進路学校実習  
（10月19日～23日）  
2 2週間連続実習  
（10月26日～11月6日）

**体験実習・見学**  
10月～11月

★1年生は  
1 1か所1日程度の実習  
（10月19日～23日の併行）

高等部2年生

**進路相談**  
5月

★夏季休業中の体験実習先  
★余剰の選ごし方  
★医療との連携  
※相談支援専門員の方も呼びかけます。

**体験実習**  
7月～8月

★2～3日  
2～3か所程度  
体験実習

**現場実習**  
10月下旬

★夏休み体験した中から、希望する場所まで、3週間現場実習。

現場実習（高等部3年生）

**進路相談**  
9月～10月

★春の現場実習先を決める  
★就業アセスメント  
★医療との連携  
※相談支援専門員の方も呼びかけます。

**春の現場実習**  
5月下旬

★2週間の実習  
★1日1時間の生活は就業アセスメント実習  
※アセスメント会議で今後の方向性を決める。場合によっては、夏休み追加実習も。

**現場実習**  
10月下旬

★3週間の実習  
原則1か所  
休養期間の場合、その日曜で2か所を設定する場合もあり

★3年生は5月から10月まで1年間の進路指導を受けている。

情報集め

事業所合同説明会・事業所見学会・進路だより

★福井市事業所合同説明会



進路だよりの事業所がブースを設けて、仕事内容や工資のことなどを詳しくご説明いたします。お子さんも参加可能です。

★事業所見学会



福井市、福井市、それぞれが別施設ずつ実際に事業所を見て回ります。お子さんも参加可能です。

自分の意思決定

小学部 ・遊び、活動の選択



中学部 ・自己の個性や興味、関心に基づいた選択  
・進路先に関する主体的な選択



高等部 ・現場実習の経験に基づく進路選択

自分の好きな事が仕事に結びつく  
人、仕事内容、場所の異なるなど、比較して選択できる  
一方で、自分の好きな事が思えず、苦しくなってしまうことも...

自分の好きな事がある。好きな活動や物を選ぶ。自分の性格や特性をつかんでいる(自己理解)とても簡単なことのようにですが、とても重要なことです。「これが好き」、「これが得意!」があることは、大きな強みです。

福祉サービス等、自分を支援してくれる場所や制度を知る・活用する



学習会  
専門家の話を聞く

進路だよりでも有意義な情報発信はしていきますが、学習会で専門家や先輩保護者の話を聞くことで新しい発見がたくさんあります。是非積極的に御参加ください!

進路ガイダンス(10月7日)・進路に関する学習会(1月23日)



障がい者職業センターの各ブース、説明するために必要なこと、就労をサポートしてもらえる制度(ジョブコーチ支援)について学んだ。施設実習後の事後学習(オープンクラス生活1、2組)も兼ねる。保護者は中病相見守り



保護者のニーズに合わせてわかりやすい内容の学習会を企画。青年会(「暮らし」を充実させるために必要なサービスとは、お金に関する事、暮らしの困りについて学んだ)

昨年度の学習会でも話題となったお金に関すること

工資(給料)+障害基礎年金(20歳~)

○一般就労は企業によって、働く時間によって様々 約7万円~13万円

A型雇用の平均賃金は約7万円、

B型の平均工資は約2万円

○障害者基礎年金(20歳より)→主治医の選択

1級81,258円(年975,100円)

2級65,008円(年780,100円)

障害基礎年金の申請には

- ・診断書(精神科)
- ・病歴・就労状況等申立書等の書類提出が必要

生まれてから20歳になるまで、どんな困り感があったかを詳しく記入していく必要があります。小学部のうちから、少しずつ困り感を書き留めておくとうれいそうです。

充実した余暇を過ごす



- ・情報を知る
- ・気になるものはやってみる
- ・好きな事を自分でできるように

私に関わったことのある生徒達の充実した余暇の過ごし方です。その子の「好き!」を見つけることがまず大切。そのためにやってみる。一人で楽しめるように、どんな工夫があるか、どうしてあげれば自分で楽しめるか、本人の様子を見ながら支援していくことが充実の余暇につながります。

・情報を知る、気になるものはやってみる

本人・保護者の願いアンケート

進路だより(年に4回発行)で、事業所や習い事、医療関係の情報を発信

生活に役立つ情報BOOK(年度末)



皆が習っている習い事、新しくできた放課後等デイサービス卒業生の過ごしている余暇の場などの情報を発信

・好きな事を自分でできるように

- 季節の花が好き・・・自分で自転車に乗って出かけて、季節の花を楽しむ
- ボウリングが好き・・・自分で空想ボウリングに出かけて10ゲーム楽しむ
- 野球観戦が好き・・・TV観戦、選手名鑑を本がボロボロになるくらいまで見て楽しむ
- カラオケが好き・・・一人カラオケができる、iPadで好きな音楽を検索し、歌うことが楽しい!友達とカラオケに出かける。
- 仮面ライダーや戦隊ものが好き・・・同じ趣味の子達とグループで出かける。
- 絵を描くことが好き・・・スケッチブックに、パソコンに、色々な素材を使って楽しむ
- ダンスが好き・・・好きな曲を機に入れてもらって、自分でiPadを操作してダンスを楽しむ。自分の姿を動画にとり、楽しむ。

上のような事を一人でできないという場合・・・

移動支援のサービス・・・移動が困難な方への外出支援。

習い事の同行、カラオケやボウリング、映画等への同行支援が可能

やり方を学ぶ、その子に合った環境を準備(サービス利用も含めて)することで、一人でも楽しめる。

企業や事業所、  
相談支援と  
連携する



支援者が集まり、相談する。  
それぞれの役割で関わる。

家族だけで抱え込む必要は全くありません。色々な支援機関とつながって、皆で児童生徒にとって必要な支援を考えていくことが、将来の生き生きとした生活につながります。

進路相談、サービス調整会議、移行支援会議（2月頃）

進路相談の際は、相談支援専門員の方と一緒に考えていく。

卒業前に、高等部3年生は、進路先、相談支援専門員、関係機関の方と移行支援の会議を行います。必要な支援について、話をしたり、それぞれの得意な部分を十分に生かせるように、いろいろな立場の方と4月からの生活の確認をしたりします。

困ったときには・・・

在学中に、助けてもらえる機関とつながっておきましょう。お子さん自身がその相談機関の方に相談しやすい、という所まで持っていけると理想的です。（進路の手引き参照）

相談支援専門員

スクラム福井

就労ネットかすみ

ふっとわーく

医療機関

ジョブコーチ（就労が決まったら）など

進路相談で相談支援専門員の方をお呼びしています。もちろん文理を共有したいからと保護者の方が望むならば、教育相談等でお呼びすることも可能です。

その他 話題にしたいこと

1. 福井大学業務支援室
2. 一般就労と福祉的就労

本校とつながりが深い「福井大学業務支援室」という就労先があります。一般就労先なので求められるニーズに応えないといけません。希望する方については実習し、適性を判断していきます。福祉的就労については進路だよりを読んでいただくと、ありがたいです。

1. 福井大学業務支援室について（一般就労です）

業務支援室からのニーズ

- ・ 保護者が本人に適切によりそい、安定している
- ・ 仲間たちとうまくコミュニケーションがとれる。
- ・ スキルアップの気持ちがある。

業務支援室について

- ・ 現在15名（18名定員）
- ・ 給料は約7万円程度です。
- ・ 終身雇用になった。
- ・ サービス利用がない場合は相談支援専門員の支援受けられない。
- ・ ふっとわーく等との連携を行う。
- ・ 卒業後進路ケース会議を行っている。

定員は大学の雇用状態です。

将来的に、定員を拡大し、松岡キャンパス増設、文京キャンパス増設とキャンパス支援員を対応する計画がある。

2. 一般就労と福祉的就労（進路の手引きも参考に）

	一般就労	就労継続支援A型	就労移行支援	就労継続支援B型
勤務時間（一般）	8:30～17:15	9:00～14:00	9:00～16:00	9:00～16:00
給料（工賃）	7万円～10数万円程度 （会社によって幅広い）	7万円程度	0円～2万円程度	2万円程度
通勤手段		基本的に自力通勤 （自家用車通勤）		保護者送迎 事業所バス 自力通勤
休日	会社によってちがう 週2日がほとんど、シフト制で平日休みのところもある。		週2日の土日休みがほとんど。 しかし、業種によっては、土日ではなく平日休みのところもある。	
サポートしてくれる人	ジョブコーチ（基本は3ヶ月） ふっとわーく 相談支援専門員 進路支援室 相談支援専門員			福祉支援専門員 （サービス利用計画という、それぞれに合ったプランを立て、随時更新しながらサポートしてくれる）